

保健師職能委員会だより

保健師職能交流集会報告 (R7.11.8 実施)

テーマ: 地域全体の健康・療養支援としくみづくり~これからの保健師活動を考えよう~

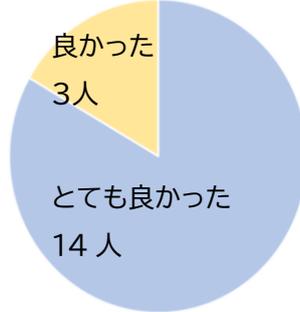
日本看護協会が令和6年11月に発行した「自治体保健師と地域看護職の連携・協働による地域全体の健康・療養支援と仕組みづくり」をもとに、愛媛大学 西嶋真理子先生にご講演いただきました。

その後、グループワークで「これからの保健師活動」について、意見交換・交流を行いました。



西嶋真理子先生

Q 研修会参加者アンケートより



*講演の様子

【参加者の声】

- 事業化・施策化の重要性を学んだことで、現在取り組んでいる事業が講義の流れに沿って実践できていると再確認でき自信につながった。
- 先を見越して他機関と連携しながら、対象者が地域で生活するための支援や仕組みづくりを考えるきっかけになった。
- 普段関わりのない市町の保健師や異なる世代の方々と意見交換ができ、自分の自治体にはない視点や地域の実情を知る大変良い機会になった。



*グループワーク

【交流集会企画担当者より】

- 講義により実践へのヒントを得て、保健師同士のネットワークの構築や、新たな視点や気づきにつながる機会になったようです。
- 所属の枠を超えてリラックスした雰囲気では対話が弾み、保健師としてのアイデンティティを再確認することができたようです。
- 今回の学びとつながりを、明日からの地域づくりに活かしていきましょう!



これからも交流集会等を企画しますので、ご参加をお待ちしております!

「事例検討会の実態把握と効果的な取組例の収集」活動報告

令和6、7年度に保健師職能委員会で実施した「事例検討会の実態把握と効果的な取組例の収集」に関する調査にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

実態把握調査をまとめ、四国公衆衛生学会で発表しました。また、効果的な事例検討会を実施している4自治体へのインタビュー調査も含め、全体のまとめに取り組んでいます。

<調査の考察と今後の展開～四国公衆衛生学会より～>

考察

▶ 愛媛県内自治体での保健師のOJTでの事例検討会の実施状況

- ☞ 県内市町では、75%
- ☞ 県保健所では、約半数

※市町では推進、県保健所はやや低調

▶ 「実践力UP事例検討会」の手法での事例検討会が多様なスタイルで県内で実施

- ☞ 検討会の評価が課題

※外部の支援の必要性が示唆

今後の展開

本調査結果を踏まえて



県内で工夫して取り組んでいる自治体4カ所にヒアリングを実施

- ☞ 自治体ごとの特徴を活かした独自の工夫で継続実施
- 看護協会による「実践力UP」手法の普及が浸透に寄与**

保健師職能委員会として・・・

事例検討会が保健師活動の重要な基盤となるよう支援

- ・評価指標の検討
- ・ファシリテーター育成支援
- ・自治体間の学びの共有の場づくり など

(令和8年2月13日 四国公衆衛生学会 発表パワーポイント資料より抜粋)

○市町を中心にOJTとして広く事例検討会が実施されていました。

○「実践力UP事例検討会」の手法が広がっているものの、評価や外部支援の必要性等が課題として考えられました。

○ヒアリングでは、事例検討会開始の背景、リードした保健師等、組織への影響、事例検討会ならではの強みや魅力など、お聞かせいただきました。

○自治体の特徴を活かした事例検討会の実施で、職場の雰囲気改善や人間関係の向上につながった部署もありました。

令和8年度事業のご案内

<交流集会>

令和8年7月4日(土)「DX化で変わる業務と保健師の変わらない価値」

愛媛県立医療技術大学保健科学部 看護学科 准教授 入野了士先生



<研修会>

令和8年11月7日(土)「保健師として育ち合う『事例検討会』に取り組もう」

千葉大学看護学部 特任助教 佐藤太一先生 **📍千葉県からお越しいただきます!**

📍保健師ジャーナル2025.4月号のコラムで、OJTとしての事例検討会の体制づくり、事前準備、事後フォローなど事例検討会のポイントを執筆されています!

保健師としてつながり、学び合い、保健師活動が楽しめることを期待しています。

保健師職能委員一同